

今夏の節電対策の進捗状況について

平成 24 年 6 月 30 日

関西広域連合

今夏の節電対策の進捗状況について

今夏の節電対策については、5月30日に開催した関西広域連合委員会において、その内容を決定したが、その後の進捗状況は以下のとおりである。

1. 通常時の対策（詳細は別紙1参照、協力事業者は6月27日現在）

(1) 家庭部門

- 効果的な節電メニューについて、節電効果等をわかりやすく示した節電チラシを作成した（別添参照）。構成府県市で活用中。
- 次の取組みについては、関係する事業者により協力を得て実施する。
 - ・ 家族でお出かけ節電キャンペーン（クールスポット）については、商業施設、外食店舗、イベント施設、公共機関等の414事業者から協力を得た。
 - ・ 節電関連製品、グッズの利用促進については、9事業者501店舗から協力を得た。
 - ・ 節電トライアル宝くじについては、11事業者から協力を得て、11種類528個の賞品を集めた。6月29日から募集を実施している。
 - ・ 節電チャレンジ（小学生への節電教育の推進）については、7事業者から協力を得て、9種類81個の賞品を集めた。
 - ・ 関西スタイルのエコポイント事業については、6月1日から本格展開を開始し、現時点でポイント原資提供企業5社の参加を得ている。

(2) 産業・業務部門

- 効果的な節電メニューについて、節電効果等をわかりやすく示した節電チラシを業種向けに8種類作成した（オフィス等（別添参照）、ホテル・旅館、飲食店、学校、卸・小売店、食品スーパー、病院・福祉、製造業）。構成府県市で活用中。
- 節電対策の働きかけについては、大規模事業者に対する節電計画書の作成指導や、中小事業者に対する節電セミナー、省エネ診断などにより、約5,500社に節電の取組みの協力を要請した。引き続き協力要請を継続する。
- サマータイム等の導入促進については、事業者、市町村に呼びかけ、協力をお願いしている。
- すべての構成府県市において、照明の半減や空調温度管理の徹底、勤務形態の見直し等の率先取組みを実践することとしている。特に、今夏の厳しい電力需給を踏まえ、全庁的な節電体制を構築して対応する自治体もある。

(3) 広報等

- 6月28日、関西広域連合のホームページに節電のサイトをオープンした。
- ターミナル駅の駅前や大規模商業施設などの人の多く集まる場所において、節電啓発チラシ、グッズの配布等により、節電の呼びかけを計画、実施。
- 府県市の広報紙、ホームページ、メルマガ等により、幅広く広報を実施した。
- 市町村に対し、説明会の開催、依頼文章の送付により、節電取組み、広報の協力要請を行った。

- 「みんなで節電チャレンジ」ロゴマークを活用した広報を行った。12 社より利用申込を受付ける。

(4) その他

- 国（近畿経済産業局）としての対策（詳細は別紙 2 参照）
- 関西電力としての対策（詳細は別紙 3 参照）

2. 緊急時（ひっ迫時）の対策

(1) 緊急節電の要請

- 関西電力から、関西府県市町村や、情報提供を希望する府県民、事業者に対して一斉メールが送信される。（前日 18 時、当日 8 時等）
- 関西広域連合構成府県市や関係自治体は、それぞれが持つメールシステムやHP等によって、テレビ・エアコン・照明の停止等、一層の節電の要請を行う。
また、併せて熱中症への注意を呼びかける。
- 通報連絡体制は別紙 4 のとおり。

(2) 関西電力の取組（詳細は別紙 3 参照）

- 需給調整契約の拡充や、ネガワット入札、アグリゲーター等の活用による需要の抑制。
- 更なる融通の他電力への要請や卸電力取引所の活用による供給力の確保。

(3) 国の取組

- 供給力確保のため、更なる全国融通の調整等を実施。
- 業界団体等を通じて事業者への連絡体制を構築。

3. 万が一に備えた計画停電の対応（詳細は別紙 5 参照）

(1) 国及び関西電力による計画停電のスキーム

- 7 月 2 日～9 月 7 日（土・日・祝日および 8 月 13 日～15 日除く）の間、8 時 30 分から 21 時 00 分を 6 時間帯に区分。
- 関西を 6 グループのエリアに区分し、1 グループを更に 8 サブグループに細分化（合計 48 グループ）。
- 1 日の停電回数は原則各グループ 1 回で、1 回の停電時間は 2 時間程度。
- 前日 18 時頃に停電の可能性があるサブグループを予告し、停電開始 2 時間程度前までに停電を実施するサブグループを通知する。

(2) 主な対応

- 医療機関における在宅医療機器使用者への対応、交通信号停止時の警察官による交通整理等、様々な分野において、想定される影響を検討し、対応策を講じる。

○ 節電パンフレット配布数

時期	種類	配布方法	枚数
6月	事業者向け	事業者団体、セミナーを通じて配布	17,300枚
7月以降(予定)	事業者向け	事業者団体、セミナーを通じて配布	27,500枚

○ 節電関連製品、グッズの利用促進の協力事業者

業種	会社名	協力店舗
家電量販店	上新電機株式会社	大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県、徳島県、奈良県内の125店舗で取組みを実施
	株式会社ビックカメラ	なんば店、JR京都駅店で取組みを実施
	株式会社エディオン	大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、奈良県内の100店舗で取組みを実施
	株式会社ヤマダ電機	大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、奈良県内の63店舗で取組みを実施
	株式会社ヨドバシカメラ	マルチメディア梅田店で取組みを実施
ホームセンター	株式会社カインズ	大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県内の10店舗で取組みを実施
	株式会社ケーヨー	大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県内の14店舗で取組みを実施
	株式会社コメリ	大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、奈良県内の139店舗で取組みを実施
	ダイキ株式会社	大阪府、京都府、兵庫県、和歌山県、奈良県内の47店舗で取組みを実施

○ 節電トライアル宝くじの協力事業者及び賞品

業種	協賛企業	景品
家電量販店	エディオン（ミドリ電化）	エディオン（ミドリ）ギフト券（5,000円分） 200名
家電量販店	上新電機	ジョーシンポイント（5,000円分） 200名
ホテル	アルモニーアンブラス大阪	レストラン「レヨン」 ペアディナー券 2組
ホテル	ザ・リッツ・カールトン大阪	イタリア料理「スプレッディード」 ペアランチ券 1組
ホテル	ホテル阪急インターナショナル	カフェ&バイキングレストラン「ナイト&デイ」 ランチペア券、ディナーペア券 各1組
ホテル	ポートピアホテル	レストランペアランチ券（2組）
ホテル	ホテルオークラ	テラスレストランビュッフェペアランチ券（1組）
ホテル	淡路夢舞台ウエスティンホテル	1泊朝食つきペア宿泊券（1組）
ホテル	アバローム紀の国	ホテル利用券（10,000円分） 5名
ホテル	ホテルグランヴィア和歌山	ランチバイキングペアチケット 10組
旅行会社	株式会社 JTB 西日本	JTB ナイスギフト（5,000円分） 10名
遊園地	ひらかたパーク	入園券（秋シーズンイベントホール入館付） ペア 25組
遊園地	みさき公園	入園券 ペア 25組
遊園地	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	スタジオ・パス（1日券） ペア 5組
遊園地	姫路セントラルパーク	入園券（10名）
遊園地	和歌山マリーナシティ ポルトヨーロッパ	ペア入園券 50組
遊園地	アドベンチャーワールド	大人ペア入園券 10組
食品	堺昆布加工業協働組合	昆布セット 20名
食品	大阪府生菓子協同組合堺支部	堺和菓子セット 10名
食品	兵庫県漁業協同組合連合会	明石だこやわらか煮セット6パック入り（10名）
		特選「ひょうご薫る黒」焼きノリ（10名）
食品	兵庫県水産振興基金	明石だこの花しゃぶセット（10名）
食品	神戸市漁業協同組合	ちりめん・くぎ煮・ちりめん佃煮各150gセット（25名）
食品	前原製粉株式会社	おもち、あんの詰め合わせ 4,000円相当（10名）
食品	MCC 食品	スープセット 3,000円相当（10名）
食品	フジッコ	商品詰め合わせ 3,000円相当（10名）
食品	有馬芳香堂	「大粒いかり豆」他、おすすめセット 2,300円相当（5名）
食品	六甲バター	QBB チーズ&ナッツ詰め合せ 5,000円相当（5名）
食品	ひょうごの美味し風土拡大協議会	兵庫県認証食品詰め合せセット（5,000円相当）（5名）
食品	ふるさと和歌山 わいわい市場	和歌山県特産 釜揚げしらす（3,000円相当） 5名
食品	株式会社勝徳梅	梅干し 3,000円相当 10名
食品	中野BC株式会社	梅酒 3,000円相当 10名

○ 節電トライアル宝くじの協力事業者及び賞品（続き）

業種	協賛企業	景品
その他	天保山大観覧車	天保山大観覧車ご招待券（1 ゴンドラ券：8名まで乗車可能） 10枚
その他	JX日鉱日石エネルギー（提供） 一般社団法人スマートプロジェクト（協力）	ENEOS プリカ（5,000円分） 50名様
その他	堺刃物商工業協同組合連合会	高級堺打刃物 5名
その他	キッザニア甲子園	家族券（大2+小2）（5組）
その他	ヴィッセル神戸	12/1（土）のホームゲーム最終戦（サンフレッチェ戦）の メイン or バックスタンドペア自由席券（10組）
その他	JA兵庫	JA兵庫直営レストラン神戸プレジール食事券3,000円（10名）

○ 節電チャレンジ（小学生への節電教育の推進）の協力事業者及び賞品

業種	協賛企業	景品
スポーツ	大阪エヴェッサ	サインボール3球、サイン入りTシャツ5着
スポーツ	ガンバ大阪	サインボール3球、サイン入り練習着3着
スポーツ	セレッソ大阪	ペア観戦チケット5組
遊園地	ひらかたパーク	入園券（秋シーズンイベントホール入館付） ペア 25 組
遊園地	みさき公園	入園券 ペア 25 組
遊園地	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	スタジオ・パス（1日券）ペア 5 組
水族館	海遊館	ペア（大人・こども）入館券 5 組 10 名様

○ 街頭啓発活動による節電呼びかけ

実施日	場 所	実施団体	備 考
6 月 16 日(土)	ハーバーランド	神戸市	食育フェア
21 日(木)	イオンモール日吉津	鳥取県、鳥取県地球温暖化防止活動推進センター、中国電力	「うちエコ診断」も実施
7 月 1 日(日)	京都駅前	京都府、京都市、近畿経済産業局、関西電力	知事、市長も参加予定
2 日(月)	J R 大津駅前	滋賀県、関西電力	
	大阪駅前地下街	大阪府、大阪市、近畿経済産業局、関西電力	
	J R 三ノ宮駅前	兵庫県、関西電力	
8 日(日)	W T C	大阪府	「大阪産(もん)大集合」イベント
13 日(金)	倉吉パープルタウン	鳥取県、鳥取県地球温暖化防止活動推進センター、中国電力	
16 日(月)	メリケンパーク	神戸市、関西電力	みなとまつり
17 日(火)	J R 明石駅前	兵庫県、関西電力	
20 日(金)	イオンモール鳥取北	鳥取県、鳥取県地球温暖化防止活動推進センター、中国電力	
24 日(火)	J R 西宮駅前	兵庫県、関西電力	
31 日(火)	J R 姫路駅前	兵庫県、関西電力	

※7 月末までで実施済み又は実施日が確定しているもののみを記載。これら以外にも、各府県市において多数の街頭啓発活動が検討されている。

○ 関西スタイルのエコポイント事業

■ポイント付与対象商品・サービス一覧

原資提供企業	製品種別	製品名	付与ポイント	対象商品の販売開始日
カネカソーラー販売㈱	住宅用太陽光発電システム (新築一般住宅対象)		10,000pt/kW (上限 40,000pt)	6月1日
YKK AP㈱	内窓	ブラマードU	1,000pt	6月1日
	外付けスクリーン	アウターシェード	500pt	
	オーニング (日よけ)	サンブレロ 01~03	3,000pt	
		サンブレロ 04	1,500pt	
	植栽ウォール	エスパリア	200pt	
はるやま商事㈱	不要なワイシャツまたはスラックスの下取り ※クールビズ対象のワイシャツまたはスラックスの 同時購入が必要		100pt 下取り割引に追加して付与	6月23日
日本板硝子ビルディング プロダクツ㈱	真空ガラス	スペーシア	250pt	7月1日
大阪ガス㈱	家庭用燃料電池 コージェネレーションシ ステム	エネファーム	10,000pt/台	7月1日

※注1 カネカソーラー販売㈱の商品は、6月1日以降に、平成24年度住宅用太陽光発電導入支援補助金の補助金申込み受理決定が行われたものに限る。

※注2 大阪ガス㈱の商品は、同社サービスエリア内において、9月末日(予定)までに太陽光発電(既設含む)と併せて設置した場合に限る。

■ポイント交換商品・必要ポイント数一覧

ポイント交換商品提供企業	商品名		必要ポイント
★イズミヤカード㈱	電子マネー 「m i y o c a (ミヨカ)」	500円分	550pt
★㈱王将フードサービス	餃子の王将お食事券	1,000円分 (500円×2枚)	1,000pt
はるやま商事㈱	ワイシャツ1枚引換券	上限 5,250円のワイ シャツ	3,000pt
	はるやま商品券	6,000円分	5,000pt
	メンズスーツ1着引換券	上限 63,000円の スーツ	30,000pt
㈱ジェーシービー	JCBギフトカード	5,000円分	6,500pt
日本図書普及㈱	図書カード	2,000円分	3,000pt
㈱アレフ	びっくりドンキーお食事券	500円分 (500円×1枚)	500pt
日本マクドナルド㈱	マックカード	2,000円分 (500円×4枚)	3,000pt

※ ★印は関西独自の協力企業。

上記商品のほか日用雑貨、家電、環境寄付など、交換商品を多数用意。

今夏の節電のお願い（ご家庭の皆様）

関西広域連合では、今夏の電力需給の逼迫が深刻であることから、以下のとおり節電目標等を定め、一層の節電対策を進めていくこととしています。ご家庭の皆様におかれましては、電力不足の現状にご理解をいただくとともに、節電対策の取組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、高齢者や乳幼児、体調の悪い方のおられるご家庭に、ご負担をかけてまで節電をお願いするものではありません。

今夏の節電目標等

【目標】平成22年度比で15%以上の節電

【期間】7月2日(月)から9月7日(金)までの平日（8月13日(月)～15日(水)を除く）

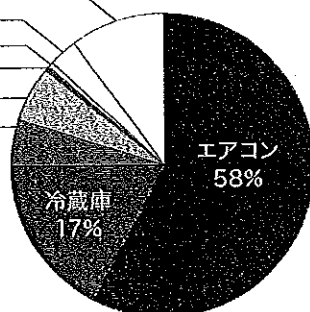
【時間】9時から20時まで

加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝（7時～9時）や夜（20時～25時）に市民生活や経済活動に支障の生じない範囲での節電にご協力をお願いいたします。

節電について具体的にお願いしたいこと

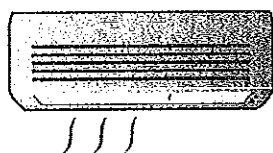
◎夏の昼間（14時頃）の電気機器の使用例（在宅世帯の例）

その他 10%
待機電力 3%
温水便座 0.6%
パソコン 0.4%
照明 6%
テレビ 5%



エアコンをはじめ、冷蔵庫など、消費電力の割合が高い電化製品の節電をしていただくと効果的です。

経済産業省「夏季の節電メニュー（ご家庭の皆様）」（平成24年5月）より



エアコン

室温28℃を目安に設定してください。
（設定温度を2℃上げた場合）

10%削減*

“すだれ”や“よしず”などで、日差しを和らげてください。

10%削減*

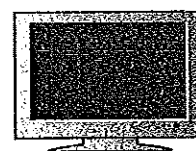
※エアコンの控え過ぎによる熱中症などにご注意いただき、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。



冷蔵庫

冷蔵庫の設定を「強」から「中」に。開閉は少なく、つめこまないでください。

2%削減*



テレビ

画面の輝度を下げ、必要などき以外は消してください。
（標準→省エネモードに設定し使用時間を2/3に減らした場合）

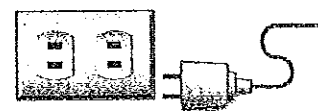
2%削減*



照明

不要な照明を消してください。

5%削減*



待機電力

主電源を切り、使わない機器はコンセントからプラグを抜いてください。

2%削減*

*節電効果の記載値は、在宅家庭の日中の最大使用時（約1,200W）に対する削減率の目安です。（資源エネルギー庁推計）【参考】経済産業省「夏季の節電メニュー（ご家庭の皆様）」（平成24年5月）

日中に在宅されていないご家庭においても、冷蔵庫や待機電力などの節電対策にご協力をお願いいたします。節電の取組みにあたっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないよう、十分ご配慮ください。

■ご家庭の節電対策チェックシート

ご家庭で取り組める対策をチェックしていただき、削減率の合計が15%以上となるよう節電にご協力をお願いいたします。

お願いしたいこと	節電効果* (削減率)	チェック
エアコン ※エアコンの控え過ぎによる熱中症などにご注意いただき、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。		
室温28℃を目安に設定してください。(設定温度を2℃上げた場合)	10%	☐
「すだれ」や「よしず」などで、窓からの日差しを和らげてください。(エアコンの節電になります)	10%	☐
無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使用してください。	50%	☐
★ 冷蔵庫 ※食品の傷みにご注意ください。		
冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこみ過ぎないでください。	2%	☐
テレビ		
省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消してください。 (標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合)	2%	☐
照明		
不要な照明は消してください。	5%	☐
★ 温水洗浄便座		
温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば利用してください。 機能がなければ、使わないときはコンセントからプラグを抜いてください。	1%未満	☐
ジャー炊飯器		
早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存してください。	2%	☐
★ 待機電力		
リモコンではなく、本体の主電源を切ってください。 長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いてください。	2%	☐

日中に在宅されていないご家庭においても、
★の対策にご協力をお願いいたします。

合計

%

*節電効果の記載値は、在宅家庭の日中の最大使用時(約1,200W)に対する削減率の目安です。(資源エネルギー庁推計) *合計の削減率は目安であり、実際と異なる場合がございます。
[参考]経済産業省「夏季の節電メニュー(ご家庭の皆様)」(平成24年5月)

■電力不足がいよいよ深刻になった場合は……

日頃からの皆様の節電のご努力によっても、なお、電力不足が深刻となる(電気の使用率が97%を超過する)場合は、テレビやラジオ、メール等で、一層の節電の呼びかけを行います。停電が起らないよう、電力不足が深刻となる時間帯には、テレビやパソコン、照明を消すなど、一層の対応をお願いいたします。

関西電力㈱では、でんき予報のほか、詳細な節電方法や、電気ご使用量の削減率に応じた商品券のプレゼント(節電トライアル)、ピーク時間以外の時間帯へ電気のご使用をシフトすることで電気料金を削減できる新料金メニュー(季特別電灯PS)などに関する情報を、ホームページに掲載しています。——— 関西電力ホームページ <http://www.kepco.co.jp/>

関西広域連合

今夏の節電のお願い(オフィス等の皆様) 別添

関西広域連合では、今夏の電力需給の逼迫が深刻であることから、以下のとおり節電目標等を定め、一層の節電対策を進めていくこととしています。事業者の皆様におかれましては、電力不足の現状にご理解をいただくとともに、節電対策の取組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、節電の取組みに当たっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないよう、十分ご配慮ください。

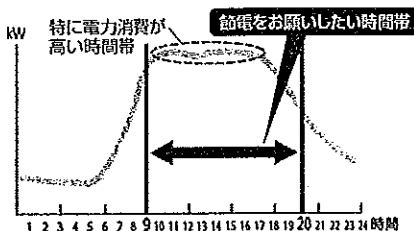
今夏の節電目標等

- ・目標:平成22年度夏季使用最大電力を基準に15%以上の節電
- ・期間:7月2日(月)から9月7日(金)までの平日(8月13日～15日を除く)
- ・時間:9時から20時まで
- ・加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝(7時～9時)や夜(20時～25時)に市民生活や経済活動に支障を生じない範囲での消費電力の抑制を要請する。

電力消費の特徴

【1日の電気の使用量<夏季のピーク日>】

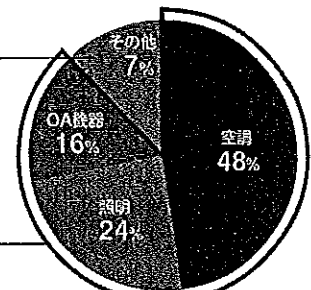
例えば、一般的なオフィスビルにおいては、日中(9時～17時)に高い消費電力が観測されます。



【電力消費の内訳<夏季のピーク時断面>】

ピーク時の電力消費のうち、空調が約48%、照明及びOA機器(パソコン、コピー機等)が約40%を占めます。

空調、照明、OA機器で約88%



出典:資源エネルギー庁推計

節電の取組みについては、空調・照明・OA機器の電力使用の工夫をご検討願います。

節電取組み方法例

下記の効果的な節電項目の取組みにご協力をお願いいたします。

【効果的な節電項目】

照明 (非常用除く)	室内の照明を半分程度間引き(冷房負荷低減効果もあります) 使用していないエリア(会議室、廊下等)の消灯
空調 (電気式の場合)	室内温度を28℃に設定 使用していないエリアの空調を停止
OA機器	待機電力の抑制のために可能な範囲で、不使用機器のコンセントを抜く ●長時間使用しない時(外出・出張)は、OA機器の電源をOFF、もしくは、省エネモードに設定願います。

建物全体に対する節電効果(試算)

13%(例:800ルクス→400ルクス)
3%未満
4%(例:26℃→28℃)
2%
3%

※節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。

※一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

上記の節電項目に合わせて以下の取組みをご検討いただければ、さらに効果的です。

空調	●日射を遮るブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用し、室内温度の上昇を抑制 ●室外機周辺の障害物を取り除くとともに、すだれ等を活用し、直射日光を避ける ●空調機のメンテナンスや設定変更 他
照明・コンセント・動力	●昼休みや休憩時間の消灯を実施 ●高効率蛍光灯やLED照明への交換 ●エレベーターやエスカレーターの稼働を停止もしくは半減 ●洗面台等の下にある電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く 他
その他	●デマンド監視装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施 ●自家発電設備(常用)の活用 他

出典:経済産業省 夏の節電メニューより抜粋

電力不足がいよいよ深刻になった場合は・・・

日頃からの皆様の節電のご努力によっても、なお、電力不足が深刻となる(電気の使用率が97%を超過する)場合は、テレビやラジオ、メール等で、一層の節電の呼びかけを行います。

停電が起らないよう、電力不足が深刻となる時間帯には、照明の一斉消灯、エアコン、パソコン、コピー機の一時停止など、一層の対応をお願いします。

関西電力(株)では、でんき予報のほか、詳細な節電方法や、需給調整にかかる料金メニューなどに関する情報を、ホームページに掲載しています。
関西電力ホームページ <http://www.kepco.co.jp/>

関西広域連合

近畿経済産業局における今夏の電力需給対策

1. 国の出先機関への広報協力要請

国の出先機関（官衛長連絡会議参加機関等）に対し以下の協力を要請。

- ①近畿地域政府機関「節電対策連絡会議」の開催（H24.6.4）
- ②「電力需給ひっ迫警報」発出時の周知
- ③節電パンフレットを各省所管団体へ配付依頼

2. 自治体・関西広域連合等への周知と連携

- (1) 関西電力管内の府県（管内 2 府 5 県、三重県、岐阜県）・管内 4 政令市に対し以下の協力依頼。

- ① 「今夏の電力需給対策について」の府県民への周知や節電への協力依頼
- ② 府県内市町村（政令市を除く）に対する「今夏の電力需給対策について」の周知と節電への協力依頼（府県のみ）
- ③ 「電力需給ひっ迫警報」発出時の節電への協力依頼
- ④ 節電パンフレットの配付依頼

- (2) 関西広域連合に対して「当局における今夏の節電対策について」を周知するとともに、関西広域連合との連携による取組を行う。

3. 経済団体への周知と協力要請

経済団体等に対し以下の協力を依頼。

団体に協力を依頼するにあたっては、文書による周知・節電要請等に加え、主要な経済団体・事業者団体等に、幹部等が直接出向き要請。

- (1)「今夏の電力需給対策について」に基づく節電への協力要請に加え、会員企業等に対する周知を併せて依頼
- (2)「電力需給ひっ迫警報」発出時の節電への協力と会員企業等に対する周知を要請
- (3)会員企業等への節電パンフレットの配付依頼
- (4)関係団体を通じた消費者等向け節電要請の実施

消費者等との接点強い需要家（流通系等）を会員とする事業者団体等については、節電パンフレットの配布等により対消費者に向けた PR 効果が期待できることから積極的に協力を要請。

4. 当局が主体となった「今夏の電力需給対策について」の周知及び節電要請活動

- (1) 節電周知イベント等の開催

- ①当局主催による事業者向け節電説明会の実施
- ②家庭向け節電対策の周知のための省エネ・節電イベントの実施
- ③経済団体等と連携した節電 PR、説明会等の実施

- ④自治体、関西広域連合、関西電力等と連携した家庭向け節電周知イベント等の検討
- (2) 会議、イベント等を活用した周知と節電への協力要請
今後各団体等で開催される会議、イベント等の場を活用し、「今夏の電力需給対策について」を周知するとともに、節電要請。
- (3) メールマガジン、HP 等による周知の実施
当局の HP やメールマガジンにより、「今夏の電力需給対策について」や節電方法等について周知。
- (4) 節電PR資料の配布等
 - ①「夏季の節電対策メニュー（事業者向け・家庭向け）を経済団体、自治体等の協力により広く配付。
 - ②家庭向けフリーペーパーを活用した家庭向け節電対策の周知。
- (5) 節電促進等関連施策の普及
 - ①自家発電補助金、節電エコ補助金、中小企業基盤整備機構が府県を通じて実施する省電力・節電等設備導入資金支援等の関連施策のPR。②「再エネ特措法」の周知、円滑な施行を図り、再生可能エネルギーの普及促進。
- (6) 「電力需給対策デスク」の設置
当局における、今夏の電力需給対策の内容や節電への取組に関するご照会等に対応するため、「電力需給対策デスク」を設置。

「電力需給対策デスク」設置場所：

近畿経済産業局資源エネルギー環境部電力事業課、資源エネルギー環境課

受付時間： 9：00～17：00（土日祝日を除く）

連絡先： 電話06-6966-6039

- 5. 取組の検証と活動報告の取りまとめ
上記取組に関しては、節電対応終了後、取組内容に関しての検証を行った上で、活動報告として取りまとめる。

以上

需給ギャップ改善に向けた関西電力(株)の取り組み状況について

平成24年夏の需給ギャップ改善に向けた当社の取り組み(1/3)

4

■ご家庭のお客さま

※実績については、6月27日時点
(引き続きPR・加入拡大に向けた取り組みを継続)

項目	内容	平成23年夏季 (実績)	平成24年夏季
個別PR	パンフレット	約54万部	5月19日以降、順次、配布
	ポスター／店頭チラシ	ポスター：約2万部 店頭チラシ：約35万部	もしくは設置中 (期間中、昨年と同程度の数量を予定)
	全戸チラシ／検針票[裏面利用]	約1,200万軒	約1,200万軒
	垂幕掲示(弊社事業所)	9箇所	28箇所 (7月2日以降設置)
	街頭でのPR	約250回	約340回(予定)
	はぴeみる電の態憑(検針WEB)	約8,300件	申込受付：約72,100件 (累計：約209,700件)
新たな料金メニューの設定	「季別電灯PS」の設定 ピーク時間以外の時間帯へ負荷移行を 促進	— (昨夏、昨冬 未実施)	加入件数：約5,300件 ＜参考＞ 申込受付件数：約11,100件 コンサル中の件数：約1,600件 申込取消件数：約4,200件
節電インセンティブ施策	お申し込みいただいたお客さまのうち、 平成24年7～9月の電気使用量 (kWh)の合計を、平成23年7～9月分 の電気使用量(kWh)の合計と比較し、 削減率に応じてQUOカードを進呈。	— (昨夏、昨冬 未実施)	申込受付：約97,400件
小学生節電チャレンジ	小学校にてチャレンジシートを配布。 家庭での節電への取り組みを計画し、取 組結果を事務局に送付いただく。	— (昨夏未実施) (昨冬配布：約110万枚 うち応募数：約6,100件)	7月6日以降小学校へ配布予定 (今夏配布予定：約110万枚)

平成24年夏の需給ギャップ改善に向けた当社の取組み(2/3)

5

■法人のお客さま(1/2)

※実績については、6月27日時点
(引き続きPR・加入拡大に向けた取組みを継続)

項目	内容	平成23年夏季 (実績)	平成24年夏季
訪問等の状況	お客さま(500kW以上)訪問	約7,000件	約7,000件
	お客さま(500kW未満)への ダイレクトメール送付	約111万件	約111万件
	業界団体さまへの訪問	産業用:89団体 業務用:45団体	産業用:74団体 業務用:51団体
随時調整契約	瞬時調整特約	当社の供給設備の事故、予想外の需要の急増による電力需給 逼迫時に強制的、もしくは当社からの通告で負荷を遮断する ことに対し電気料金を割引	24件 約37万kW
	通告調整特約	当社からの通告により、翌日に実施される大幅な負荷抑制に 対し電気料金を割引	4件 約1万kW
	随時調整契約の合計 ※随時調整契約kWは契約値		28件 約38万kW
計画調整特約	休日特約	休日の振替や新たな休日の設定など、1日単位での負荷調整	約1,900件 (対象:約7,000件)
	操業調整特約	プラントの補修や長期休日の設定など、週単位での負荷調整	約79万kW(注)
	ピーク時間 調整特約	空調機器の一部停止や自家発電の発電増加など月単位での 負荷調整	(注)計画調整特約kWは、日毎の契約調整電力 合計値の最大値
需給調整	デマンドカットプラン (需給調整特約S)	最大需要電力が前年同月の最大需要電力を下回る場合に、 それに相当する電気料金を割引	約76,400件 (対象:約110,000件)

(注)前年同月の最大需要電力と当月の最大需要電力
との差であり、結果として協力いただいた数値。

平成24年夏の需給ギャップ改善に向けた当社の取り組み(3/3)

6

■法人のお客さま(2/2)

※実績については、6月27日時点
(引き続きPR・加入拡大に向けた取り組みを継続)

項目	内容	平成23年夏季 (実績)	平成24年夏季
アグリゲーター等活用	BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制 (依頼タイミング: 需給逼迫が予想される日の前日の午後)	— (昨夏、昨冬 未実施)	18事業者より応募あり 約820件 約1.1万kW (注)応募段階の数値であり、 現在、契約に向けて調整中
ネガワットプラン	需給逼迫時にお客さま側で負荷を抑制していただける電力(ネガワット)を入札により募集 (依頼タイミング: 需給逼迫が予想される日の前週の金曜日から前日までの間で、追加的な負荷調整が必要とされる日毎に入札を実施)	— (昨夏、昨冬 未実施)	11件の登録
管外のお客さまとの ネガワット取引	他電力、アグリゲーターにご協力をいただき、当社管外の大口のお客さまとネガワット取引を実施し、これによって生じる他電力の供給余力を融通送電いただくもの (依頼タイミング: 需給逼迫が予想される日の前週の金曜日から前日までの間で、追加供給力が必要とされる日毎に入札を実施)	— (昨夏、昨冬 未実施)	実施に向け、アグリゲーターより 管外のお客さまに対して参加を 従属しているところ

○関西広域連合の皆様には、昨夏・昨冬以上に、電力需給に関する情報をご提供し、皆様との連携をより強固なものにしたいと考えております。主なご報告内容は以下のとおりです。

1. 需給ギャップ改善に向けた当社の取組み状況のご報告

・PR啓発活動、需要抑制方策に係る取組みの進捗を、月1回程度、ご報告。

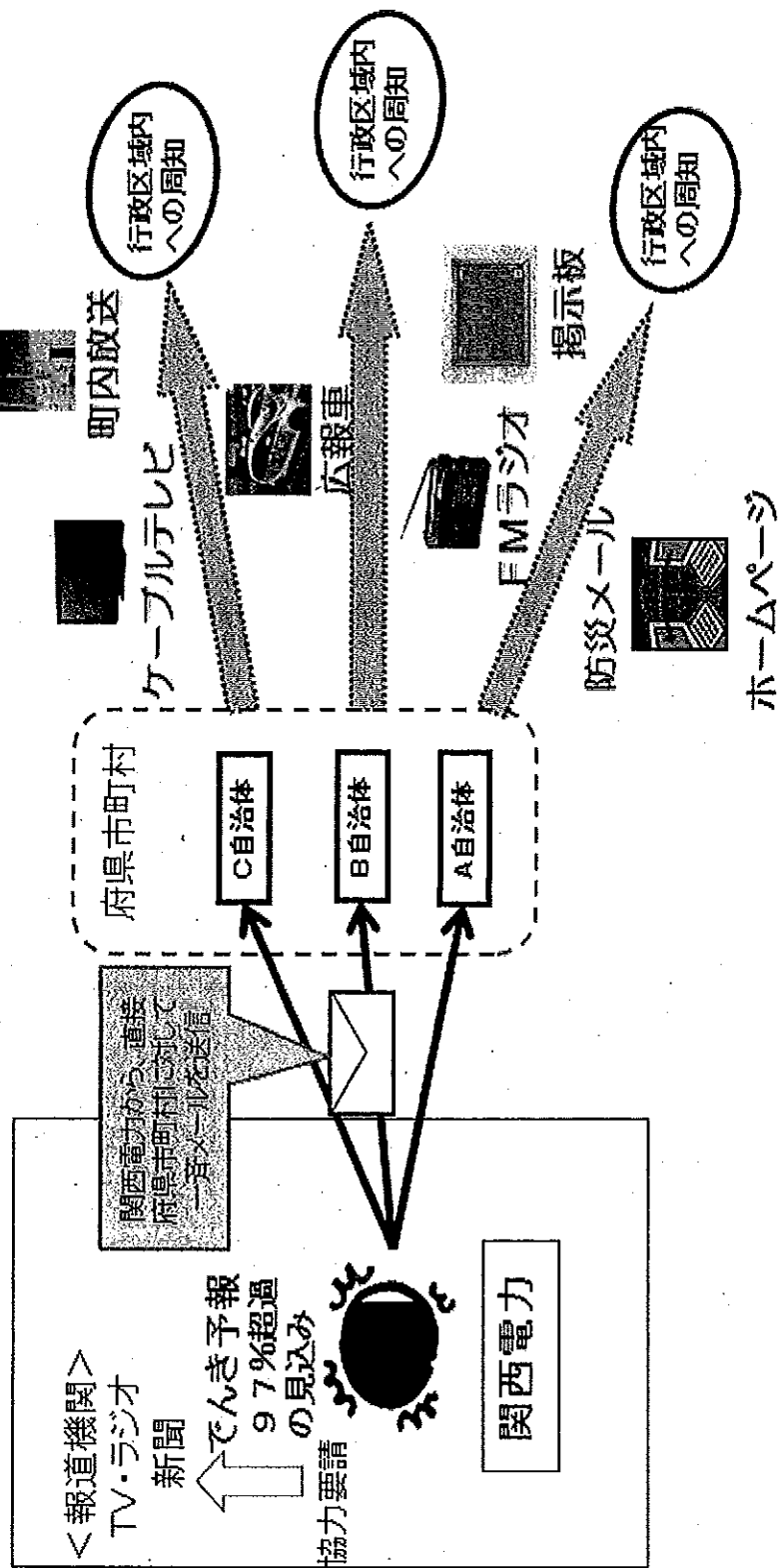
2. 電力需給状況のご報告

・今週の実績（ピーク需要・時刻、電源別供給力・変動理由、最高気温等）、来週および再来週以降の見通し（ピーク需要・時刻、電源別供給力・変動理由、週間天気等）を、週1回（金曜日の夕刻）、ご報告。

・昨夏、昨冬同様、サンプルデータを用いて、家庭用・商業用・産業用の電力量実績、地域（支店）別・用途別の電力量実績を、月1回程度、ご報告。

・なお、日々の需給状況についても、「でんき予報」をベースとして、連携させていただきます。

緊急節電の要請
通報連絡体制



万が一に備えた計画停電の対応

1 国及び関西電力による計画停電を実施する場合の内容

(1) 設定期間：7/2（月）～9/7（金） ※土・日・祝日および8/13（月）～8/15（水）を除く。

(2) 設定時間帯：8：30～21：00（下記の6時間帯に区分）

第1時間帯・・・8:30～11:00 第2時間帯・・・10:30～13:00

第3時間帯・・・12:30～15:00 第4時間帯・・・14:30～17:00

第5時間帯・・・16:30～19:00 第6時間帯・・・18:30～21:00

※停電・送電の操作に30分程度の時間が必要となるため各時間帯は重複する。

(3) エリア区分：グループ 関電管内を6グループに区分

サブグループ 更に1つのグループを8つに細分化（合計48グループ）

(4) グループ・サブグループの確認方法：

以下により、自分の属するグループ・サブグループを確認できる。

- ・ 関電から7月初旬を目途に各戸にダイレクトメールで通知
- ・ 関電HPの「計画停電グループ検索システム」に「お客さま番号」を入力して確認 等

(5) 1回の停電時間：2時間程度

(6) 1日の停電回数：原則各グループ1日につき1つの時間帯

(7) 計画停電するグループ及びサブグループの順番：

各グループ間及びサブグループ内で公平となるよう、計画停電の順番を予め設定・公表し、必要となった場合は、その順番に沿って計画停電を実施

(8) 実施予告：

①月間予定（期間中に計画停電の可能性がある時間帯・グループ・サブグループの順番）については、関電HPで公表済み

②前日18時頃：停電の可能性がある対象サブグループを公表

③各時間帯の2時間程度前まで：停電を実施する対象サブグループ（確定情報）を公表

※②③については、登録アドレスへの「需給逼迫のお知らせメール」や関電HPにて確認可能

(9) 影響緩和施設：

・ 医療機関等（救命救急センター等の救急医療機関、周産期母子医療センター、災害拠点病院等）

※病院については6/25に厚生労働省から公表済み

・ 国の安全保障上極めて重要な施設 ※施設名は非公表

・ 国の主要な機関、府県庁・市町村役場・区役所の本庁舎、府県警察本部・警察署、消防本部・消防署等

・ 原子力発電所周辺30km圏内

上記のほか、技術的に可能な範囲で鉄道、航空、金融システム等についても停電による影響を緩和する。

2 関西広域連合構成府県市の対応状況

計画停電が実施された場合、府県民の生命・健康や交通、ライフライン等に大きな影響が想定されるため、以下の対応を基本として、構成府県市の状況に応じた的確な対応を図る。

(1) 健康・福祉

項目	想定される影響・課題	対応（検討中のものを含む）
医療機関	・医療機器等の使用が制限され、入院患者等の生命に危険が及ぶ恐れがある。	・施設、関係団体等に対し、必要に応じて自家発電装置の点検や燃料の確保、在宅医療機器使用者への対応の準備等、確実な対応を要請
在宅患者	・人工呼吸器、酸素濃縮装置等医療機器在宅使用者への対応	○医療機器への対応 ・バッテリーの確認や交換、酸素ボンベの補充等に対応 ○在宅患者への対応 ・在宅医療機器使用者等への注意喚起
乳幼児や高齢者等に対する熱中症対策	・乳幼児や高齢者等に対する熱中症対策	・広報紙等の手段により注意喚起
障害者支援施設、障害児入所施設	・医療機器使用障害者（児）への対応（人工呼吸器、酸素吸入器、喀痰吸引等使用者）	・施設に対し、医療機器の使用等に支障が生じないよう適切な対応を要請
高齢者入所施設	・医療機器使用高齢者への対応（人工呼吸器、酸素吸入器、喀痰吸引等使用者）	・施設に対し、医療機器の使用等に支障が生じないよう適切な対応を要請 ・自家発電装置の購入、バッテリー等による対応状況を個別に確認
公立病院	・診療用機器や電子カルテ等の稼働停止に伴い診療機能が著しく低下 ・厨房設備の停止により、適切な食事の提供ができない。 ・空調の停止により、疾患を抱える外来・入院患者の体調悪化が懸念される。 ・空調の停止による室温上昇で、MRI等の医療用精密機器の性能維持に支障を来すことが懸念される。	・非常用自家発電機への切り替え 〔非常用自家発電機では、手術室など一部の限られた設備しか電源が確保できないことから、救急をはじめとして診療機能を一定抑制せざるを得ない場合が生じる。〕

(2) 交通

項目	想定される影響・課題	対応（検討中のものを含む）
交通対策	・信号機の滅灯による交通の混乱 ・可変標識による時間規制が停止した箇所における安全対策	・計画停電エリアの主要交差点に警察官を配置し、交通整理を実施 ・現場に警察官を配置して交通規制を実施

(3) 上下水道

項目	想定される影響・課題	対応（検討中のものを含む）
水道・浄水場の取水・浄水処理・送水停止時への対応	【府県営・企業団等（水道用水供給事業）】 ・供給点配水池が空になった時に受水市町村が断水リスク等 〔配水池には一定の水量を蓄える機能があり、府県営水道等からの送水が停止した場合でもすぐに断水になるわけではない。〕	・供給点配水池を高水位にするために、事前に送水量を増やす。 ・受水市町村を通じて府県民及び事業者等へ節水を呼びかける。 ・計画停電の時間や配水池（受水団体所有）の貯水量に応じて、緊急時には非常用自家発電設備※を稼働させる。 ※設備がある場合のみ
	【市町村営（水道事業）】 ・浄水機能麻痺による断水の可能性	・計画停電の時間や配水池の貯水量に応じて、緊急時には非常用自家発電設備※を稼働させる。※設備がある場合のみ ・水の汲み置きや、ポンプ復帰時の水浸しを防ぐため、断水中でも必ず蛇口を閉めておく、復電による揚水の赤水への注意、不要不急の水利用を控えることを啓発する。
下水道	【府県管理】 ・計画停電が毎日続くような状況になれば、下水処理全般が滞り、放流水質が悪化する恐れがある。	○水処理施設 ・非常用自家発電機で処理を継続 ○污泥処理施設 ・計画停電への対応が特に困難な施設の個別対応について関西電力と調整
	【市町管理】 ・自家発電機を設置していない処理場やポンプ場で、汚水が溢水する可能性がある。	（市町による対応） ・計画停電が実施されている時間中は、極力ご家庭などからの排水を控えていただくよう啓発する。
工業用水ポンプ場送水停止への対応	・各受水企業は、長くて4～5時間、少なくとも2時間程度分の水量を蓄えるタンクを保有しているが、計画停電が長時間となる場合や貯水量が十分でなかった場合、配水停止に至る可能性がある。 ・工業用水の用途は、冷却用・洗浄用・原料用にもなっており、配水停止になった場合、生産活動にも支障を与え、特に製鉄所での冷却水の停止は、炉に被害を与える危険性がある。	・ユーザーに対し、事前に受水量を増やし受水タンクを高水位にするよう促す。 ・高い位置に水源を持つ工水は、ダムからの導水に切り替え自然流下による送水を継続する。

(4) 教育機関

項目	想定される影響・課題	対応（検討中のものを含む）
公立特別支援学校 及び寄宿舎	障害のある児童・生徒の通う 学校の場合 ・照明、エレベータ等の学校設備の停止により、授業や学校活動の実施が困難 ・体温調節ができない児童・生徒がいる教室の空調停止や喀痰吸引器等の医療機器の使用不能により、直接的・間接的に児童・生徒の生命が脅かされる。 ・交通機関のダイヤ変更等により、自力通学者の中には、通常時と異なる時間帯での乗車等に不安な生徒がでてくる。 ・調理器具等の使用不能により、食事の提供等が困難	※ 各学校において、それぞれの状況に応じた児童・生徒の安全及び健康の確保等を考慮した臨時休校や授業時間の短縮等の対応を検討する。 ・寄宿舎については、適宜状況を勘案した対応を行う。